

四中だより



学校
教育目標

進もう
学ぼう
励もう

おおらかに
うるわしく
たくましく

Love 四中! We Love 四中!
ここが未来への出発点

一学期の始業式で生徒の皆さんに伝えた内容をご紹介します。

皆さんと再会できてとてもうれしく思います。元気になっていましたか？

新型コロナウイルス感染症の猛威は、世界中を駆け巡り、感染者230万人を超え、死者は16万人を超えました(アメリカ:ジョンス・ホプキンス大学システム科学センター集計:4月20日現在)。国内では、緊急事態宣言が47都道府県に発令され、人々の移動制限により感染拡大防止に取り組もうとしています。

3月3日から始まった臨時休業は、すでに約50日を過ぎました。新たに明日から5月10日までの20日間延長となります。今年の様々な活動にも大きな制限が課せられることでしょう。

この困難な状況をどう乗り越えていくか、私たちも含めて一人一人が考え、行動していくときかと思えます。大切なことは、「**正しく恐れる**」です。

さて、四中スタンダードは、最上級生である**3年生が後輩の手本**となるように**本気と気配**を持って学校の諸活動に取り組んでいる姿です。「さすが、3年生は素晴らしい。」と今年も言わせてください。その姿を見た、**2年生は、それを超えようと工夫と努力**を重ねて成長して欲しい。そして、お互いの健闘を讃えあう交流が、学校全体の絆を強くしていきます。

一人一人が、新たな希望と目標を掲げ、今年度の取り組みを進めようとしていると思います。皆さんの取り組みひとつひとつを応援していきます。

中学校は社会人となるための基礎作りをするところです。
今年もキーワードは、3つです。

1 「主体的に 関わる力(チームで働く力)」

…一人ひとりの命はかけがえのない宝です。

自分もみんなも大切な命です。「今」をしっかり生きなければなりません。



主体的に「関わる力」を発揮するには目標をみんなで共有し、力を合わせて本気で取り組むことが重要です。そして何よりも、**仲間を大切にする**ことです。「**君がいてよかった**」と言える関わりを重ねていきましょう。

ただし、**現状では関わり方に注意が必要**ですね。手話やハンドサインなどはどうでしょう。意思を伝える方法は様々にあるはずです。



2 「主体的に 学ぶ力(考え抜く力)」

…**目標がその日その日を支配します。夢や希望を実現するための目標を立てて努力を重ねていきましょう。「思いは形にする。」**のです。

代表の生徒の皆さんの抱負にもありました、四中の家庭学習への取り組み方が変わります。主体的に学ぶ力を身に付けていく方向です。

自分を知り、つきたい力・学びたい内容を自ら見出し、計画的に取り組むのです。そのために、**自分は「何ができて、何ができていないのか。何がわかっていて、何がわかっていないのか。そして、もっと何を知りたいのか、できるようにしたいのか、どこまで高まりたいのか。」を見出すこと**です。これが、主体的な学びの第一歩となります。具体的な取り組み方の例は、いろいろあります。先生や仲間に聞くこともできますし、自ら調べて取り組むこともできます。一人一人の希望の進路実現は、始まっています。**実践したら必ず振り返り、次の一步の計画を立てる。「いつやるの?今でしょ!」**

3 「主体的に 挑戦する力(前に踏み出す力)」

…**当たり前のことができることは「立派な力」**です。

あいさつ・返事・時刻を守る・約束を守る・日常活動にしっかり取り組むです。日々の当たり前のことをしっかり取り組むことは立派な力です。

まずは、出会いのあいさつから始めましょう。いつでもどこでもだれにでも、そして何度でも明るく元気なあいさつをしましょう。

3密(密閉・密集・密接)は避けてね。笑顔は人を幸せにするものですから。

以上の3つのことをお願いし、新たな四中を皆さんに託します。
様々な困難は覚悟の上です。

みんなで考えを出し合い、前に進みましょう。

最後までしっかり聴いてくれて、ありがとう。

日々の検温・健康観察の記録を続けて、生活リズムを整えてくださいね。



